

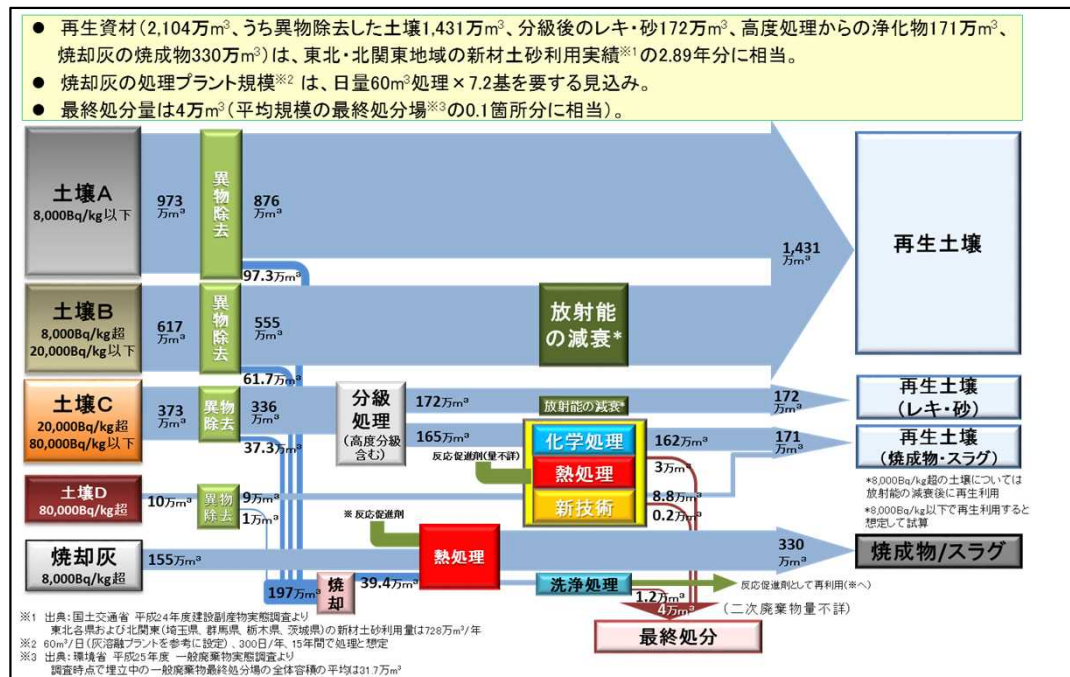
減容・再生利用技術の現状把握について

平成28年12月
環境省

減容・再生利用技術の現状把握に係る取組状況

- 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略及び工程表(平成28年4月)において、国内外における減容・再生利用技術の開発状況を継続的に現状把握・評価することとしている。
- これまで、放射性セシウムにより汚染された土壌や焼却灰の減容処理技術(分級処理、化学処理、熱処理)の現状と課題を整理するとともに、中間貯蔵される福島県内の除去土壌等を対象として、現在の減容処理技術を活用した場合の技術的可能性として、一定の仮定の下で、最終処分必要量の試算(減容処理技術による減容効果の試算)を実施してきたところ。
- これまでの技術論文等の調査に加え、最新の技術開発動向に関する民間企業等のヒアリング調査等を踏まえ、引き続き、技術情報の充実化を図る。

○減容処理技術活用による最終処分量の試算(平成27年度の取組例)



第2回中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会資料

➡ 継続的な技術開発動向の把握・評価により、戦略・工程表の更なる具体化・精緻化につなげていく